

# 頭部を打撲した場合の 処置と対策

(一) 全日本剣道連盟

医・科学委員会

2019/1版



一般財団法人  
全日本剣道連盟  
All Japan Kendo Federation

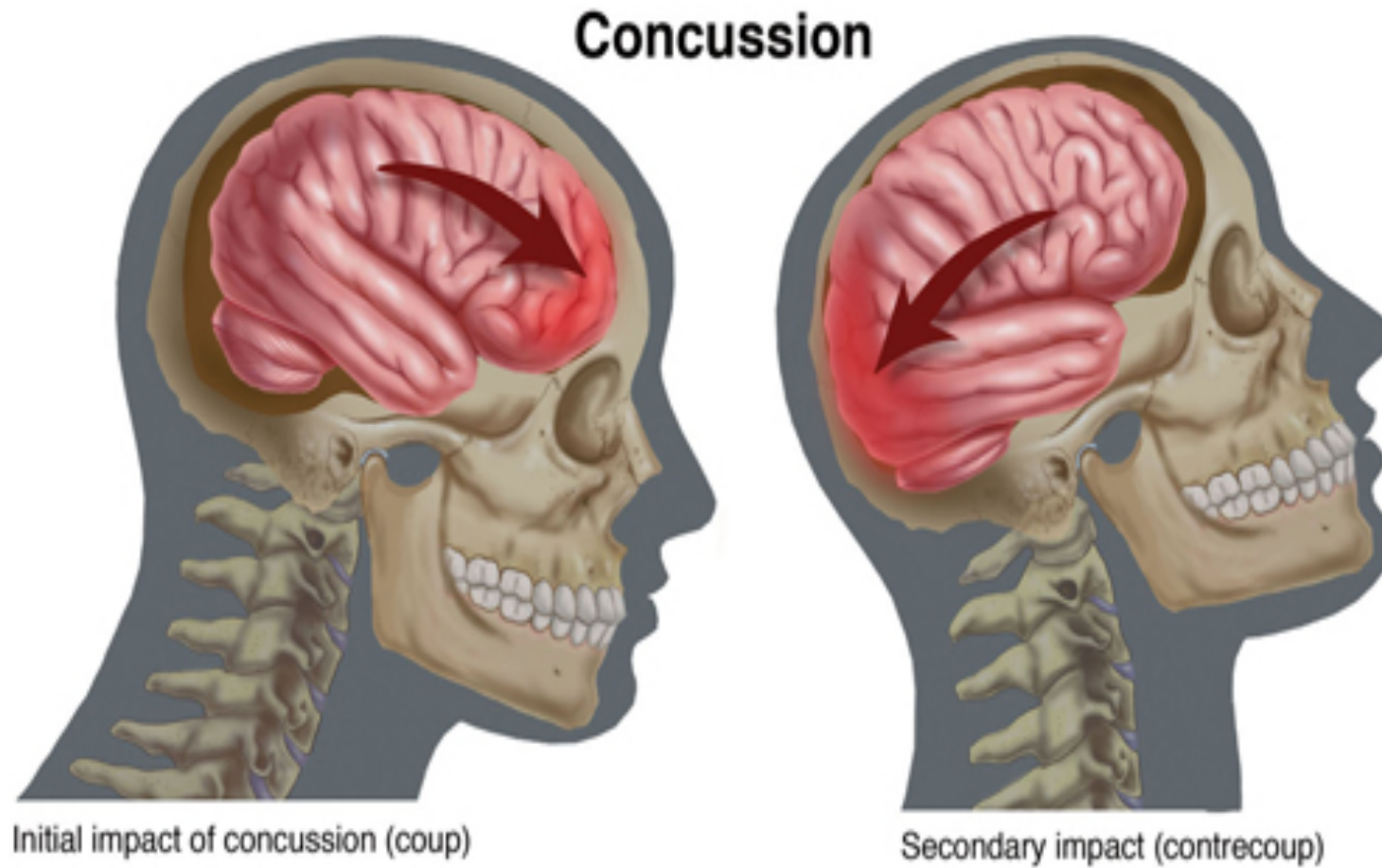
# 脳震盪（のうしんとう）とは？

頭部の直接あるいは間接的な打撲や  
振動により起こる脳の機能障害



引用: 剣道医学Q&A 朝日茂樹

# 脳震盪 (のうしんとう) = 脳が揺さぶられる状態



引用元: <https://hearinghealthmatters.org/theaudiologycondition/2016/concussion-condition-audiology-awareness/>

# 脳震盪（のうしんとう）を疑う 場合は？

1. 頭痛などの症状（自覚症状）
2. ふらつきなどの所見（理学的所見）
3. 意識消失
4. 性格や感情の変化

以上のいずれか一つが  
ある場合



# 脳震盪（のうしんとう）を疑う 自覚症状とは？

- 頭痛
- めまい
- ぼんやりする
- 吐き気・おう吐
- 記憶がない
- 感情の変化（いらいらする・・・）



# 見当識（けんとうしき） ・ 記憶障害の 見分け方

- 今日は何月何日ですか？（時間）
- ここはどこですか？（場所）
- 自分のチーム名は何ですか？（記憶）
- あなたの名前は？（記憶）



# バランステスト（ふらつきがある場合）

## ☐ バランステスト

利き足を前にして  
図の姿勢をとり、体  
重を両足に均等  
にかけ、目を閉じ  
て20秒間保つ

1

目を開ける

手が腰から  
離れる

よろける

計6回以上ある

2

姿勢を5秒以上  
保持できない



引用元：<http://tenmei.cocolog-nifty.com/matcha/2014/11/post-825f-4.html>



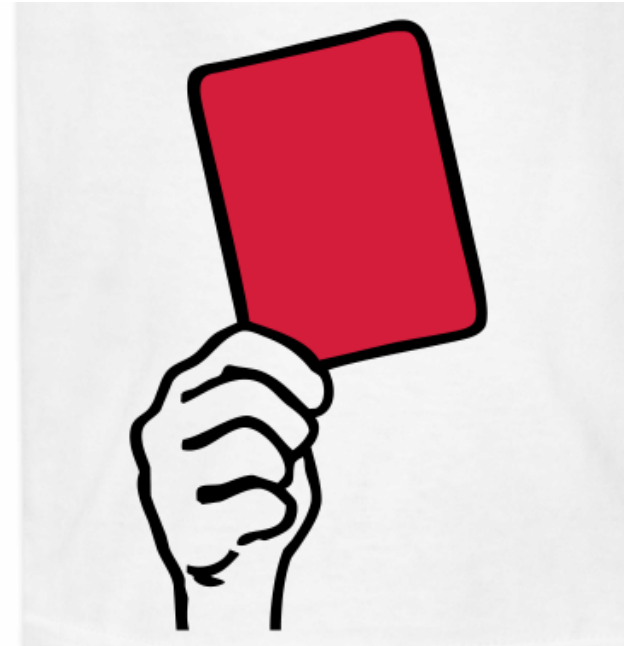
一般財団法人  
全日本剣道連盟  
All Japan Kendo Federation

# 脳震盪（のうしんとう）が 強く疑われたら？

1. 試合の中止を勧告する
2. 医師の診察を勧める→脳CT，MRI検査
3. 24時間の経過観察



疑わしいときは  
専門医に受診を！





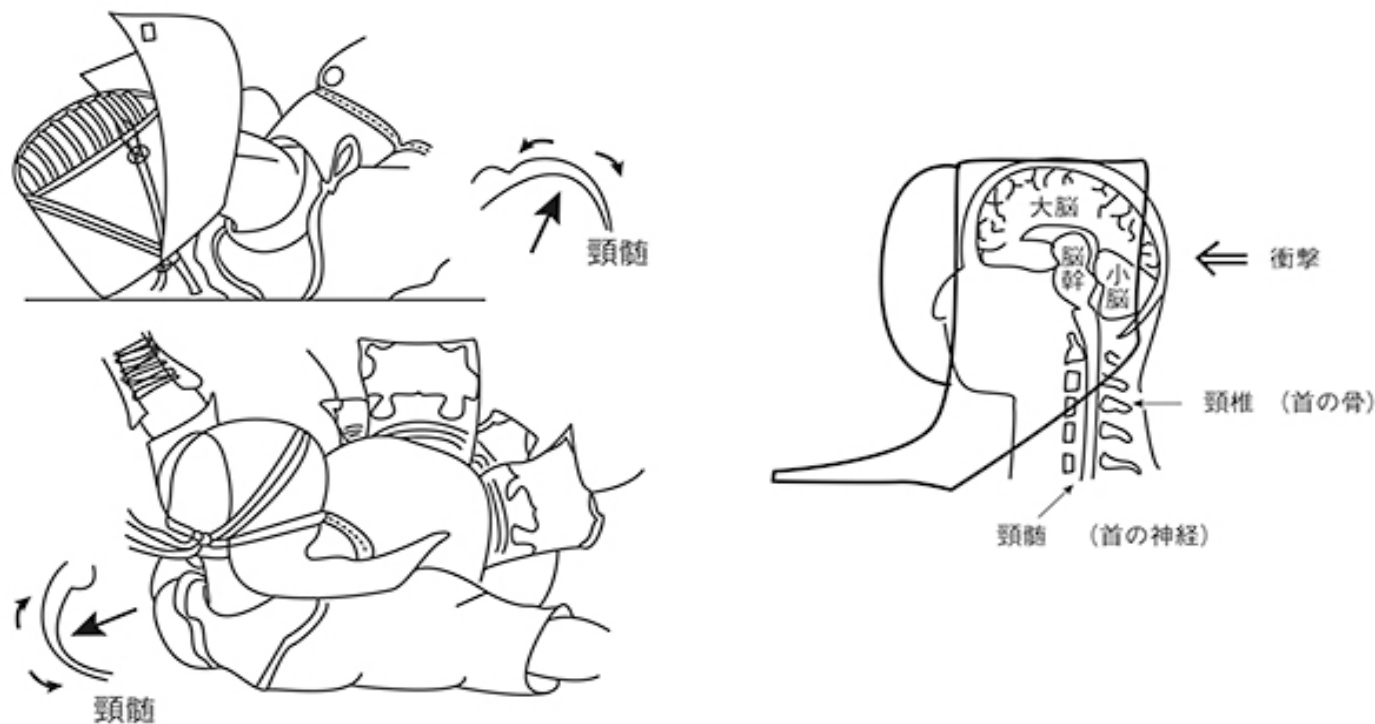
# 試合続行が可能と判断される場合

- 呼びかけにしっかりと応答する
- 視線が合い、動かす指を追視できる
- 記憶喪失がない
- 見当識（けんとうしき）の障害がない
- 手や足にしびれ、違和感、脱力がない
- 吐き気や頭痛がない
- バランステストが正常である



# 頭部を打撲した際には、 頸髄・頸椎損傷にも注意をする必要あり！

図1 面により保護される中枢部分と、後方転倒時の頸椎への衝撃



引用元:「剣道医学Q&A」朝日茂樹

# 救急車の要請が必要な場合とは？

- 首のうしろに激しい痛みがある  
→ 頸椎損傷、外傷性くも膜下出血
- 視線が合わない、動かす指を追視できない  
→ 脳神経障害
- 意識が混濁していく  
→ 脳挫傷
- 両手・指に力が入りにくい  
→ 頸髄損傷
- 頭痛・おう吐がある（脳圧亢進症状）



# 救急車が来るまでの処置

- 頭を大きく動かさずに面をはずす
- 胴・垂れ・袴のひもをゆるめ、呼吸しやすくする
- 頭部をやや高い状態に保ち、横向きにしなが  
ら、吐物で窒息しないように注意する
- 本人の意識がもうろうとしている場合には、  
本人情報を集め、救急車に同乗する



# 意識がないときに取りべき姿勢 (昏睡体位)

## 【昏睡の体位】



(SECOM 大人の安心倶楽部より引用)

# 頭部打撲後に 起こりうること

1. セカンドインパクト症候群
2. 低髄圧症候群

# セカンド・インパクト症候群

- 脳震盪（のうしんとう）を生じた後、短期間に2度目の衝撃を受けることで、脳に重大な損傷が生じ、重篤となること
- 致死率：50 %とも言われる
- 学童では、受傷後から頭痛や嘔吐などが続くのが特徴
- 予防：脳震盪を起こしたら、安静にする
- ラグビー：3週間出場禁止



# 頭部打撲後に頭痛が続くとき？

→低髄液圧症候群を疑う

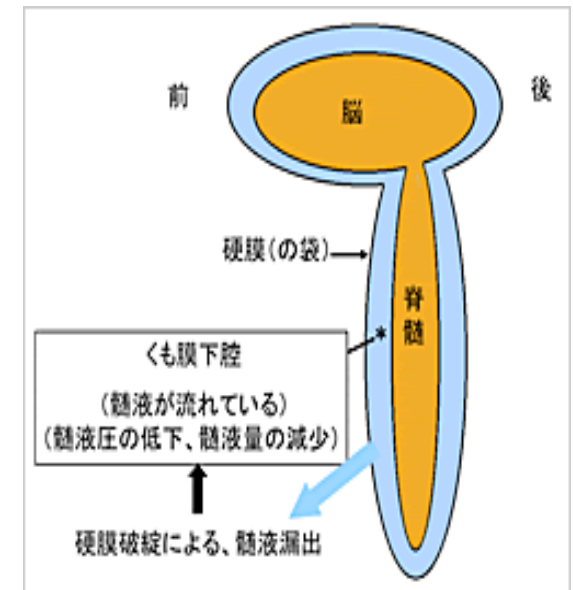
診断基準：

前提： 1. 起立性頭痛  
2. 体位による症状の変化

大基準： 1. 造影MRIで硬膜肥厚  
2. 腰椎穿刺で低髄液圧  
3. 髄液漏出を示す画像所見

（前提項目1項目）＋（大基準1項目以上）

（脳神経外傷学会）



図は<http://www.ypch.gr.jp/departament/neurosurgery/topics07.html>より引用



# 頭部を打撲した場合の 処置と対策



重症な病態を早く発見し、  
適切な対応をすること

